

オレに聞け!!



経済学部教授。

1939年東京に生まれる。1970年慶應義塾大学経済学研究科博士課程単位取得満期退学。

担当科目：『経済学史』（『経済学史Ⅰ』、『経済学史Ⅱ』）、『社会思想』（『近代社会思想』、『比較社会思想』）。

研究テーマ：ロック、ルソー、スミス、マルクス、ウェーバー、ケインズらの学説研究。

ルソーが僕に教えてくれたことを、あなたにそっとお教え致しましょう。『内部感覚』を使用して生きなさい』その一言です。「内部感覚」って何？とあなたはお聞きになることでしよう。それは我々の心の奥底に息づく『自分自身』を感じとる感覚をいうのです。我々が所有する「五つの感覚」は『外的事物』を感じとる感覚です。それだけ使用していると人は「外的事物」に心を奪われて、ともすれば「自分自身」を見失ってしまいます。「自分自身」でありつづけるためには「内部感覚」の使用が必要不可欠なのです。

ルソーが僕に 教えてくれたこと

飯岡秀夫



Rousseau, J-J
(1712 - 1778)

気軽に手軽に海外旅行

— 思いついたらぶらっとひとり旅 —

池野正晴

ちょっと時間が空いた時などに、「ちょっと海外へ」はいかがでしょうか。今流行りの言葉をもじって使えば、「プチ旅行、プチ外遊」か。

ネットを通じて廉価な往復航空券を手に入れ、すぐに出発。ニューヨークへ二〜三万円台で、というのも夢ではない。（とはいえ、購入は信頼のおけるところで。）航空券によっては、いくつかの都市（同一国内や数カ国）を周遊できる場合も。時期などにもよるが、うまく行けば、イスタンブールからカイロ・アテネ周遊が十万以下のことも。ホテルとセットの安いものも。

荷物は、できるだけ小さくし、手荷物として機内持ち込みにするがいい。空港からすぐに出られて、時間を有効に使える。手ぶらで散策を愉しむには、貴重品隠しにポケットが多めにあるお召し物を。安全も考えながら、できるだけ足と五感でなまで感じてきたいものである。

ただし、注意事項も。空港や港にいる自称案内人やお恵みをと寄ってきた老婆と娘、ソフトクリーム睡眠薬強盗の話に興味がおありの方は研究室まで。



経済学部教授。

東北大学大学院教育学研究科博士前期課程（教育哲学・教育史専攻）修了。専門分野は教育人間学および学校教育学、授業論。国公立学校教員を経て、90年より高崎経済大学経済学部講師、助教授、そして教授。小・中学校の現場で授業をしたり、海外の学校にも授業視察に出かけたりすることもあります。